



こんにちは

# 村田 けい子です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。ホームページがあります。  
フェイスブックやっています。 移動事務所 090-9144-8534  
発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

'24.4.5  
No.444



手作りのお花のラインに希望を載せて

## 4.4小学校・中学校の入学式 新たな門出に幸多かれ！

〈小学校〉  
男子20名  
女子14名  
合計34名  
2クラス

〈中学校〉  
男子17名  
女子24名  
合計41名/1クラス



拍手で入場の新一年生は、6年生の姿を見た後では、とても幼く、かわいく見えます。

「ご入学おめでとうございます」というと、声をそろえて「ありがとうございます」と答えます。保育園での教えが活きているのだなと感動します。

校長は、「2つの約束をしてね」と「挨拶をしましょう」「交通事故に気をつけましょう」との言葉を送りました。

担任の先生方は全員女性で優しくそうな方ばかり。キラキラした子どもたちが、そのまま育ててくれることを願います。式は30分ほどで終了。子どもたちは騒ぎもせず、お行儀よく式に協力してくれました。

来賓の控室の図書室には、テーブルの上に、折り紙で作ったお花が置いてありました。



3月に卒業したばかりの6年生が、3週間後には、初々しい中学1年生になり、制服に身を包んだ生徒たちは緊張した面持ちで式に臨んでいました。

塩沢教育長は古代ギリシャのディオゲネスの言葉「習慣は第2の天性である」の言葉を紹介。「良い習慣を作ることで、あたかも自分に以前から備わっていたかのように、その人自身を形作っていく」と話し、「良い中学校生活を」と、はなむけの言葉となりました。

中学校の上級生からは歓迎の挨拶があり、中学校生活が小学校とどう違うかを紹介しました。新一年生代表からは「自分で考え行動することが増えると思う。一日一日を大切に日々成長したい。目標を持ち努力したい」と抱負が語られました。

生徒たちの真剣な、そしてさわやかな表情に、希望に満ちたものになるように、願わずにはいられません。

ウクライナやパレスチナなどの戦地や能登半島地震の被災地では入学式どころではないでしょう。卒業式・入学式が通常通りに行われることは当たり前ではない、感謝しつつ、平穏な毎日続けることが、児童・生徒たちの未来を切り開く大前提であることを感じました。



議会報告を配っていたら、風除室いっぱい、日本サクラソウが鉢一杯に咲き誇っていました。思わずパチリ！



我が家の梅の花、今年こそ実りますように



我が家のミニスイセン  
春だ・春だと  
ラツパが告げる



塩沢の生垣 日当たりの良いこの場所は、いち早く花が咲く

今週のパチリ！

～♪春が来た 春が来た どこに来た  
山に来た 里に来た 野にも来た～

